

令和5年度 外国人児童生徒等
教育充実のための研究協議会



11月2日（木）

太田市立旭中学校

内容

- 1) 旭中学校紹介 スタッフ、生徒数
- 2) 国際教室の紹介 保護者会、小中連携等
- 3) 国際教室の取り組み 取り出し指導、入り込み指導
- 4) 校内連携 部会、進路指導等

1) 旭中学校紹介



旭中 職員

校長 教頭 教諭他 38名 うち日本語指導員 3名

国際教室スタッフ

国際担当教諭	A	取り出し2時間	入り込み4時間(1年副担：全学年音楽担当)		
	B	取り出し2時間	入り込み1時間(1年担任：1学年国語担当)		
担当外教諭	C	取り出し2時間	入り込み1時間(1年副担：1学年英語担当)		
	D	入り込み2時間	(3年担任：3学年国語担当)		
	E	入り込み1時間	(2年副担：2学年英語担当)		
日本語指導員	F	ポルトガル語	週4日勤務	取り出し3時間	入り込み9時間
	G	スペイン語	週2日勤務	取り出し2時間	入り込み5時間
	H	中国語	週1日勤務	取り出し1時間	入り込み1時間

旭中 生徒数290名（国籍別）

国籍	ブラジル	ペルー	フィリピン	中国	その他 (日本籍含む)	合計
1年生	6	3	0	0	0	9
2年生	5	2	0	1	2	10
3年生	8	2	1	0	2	13
合計	19	7	1	1	4	32

その他：韓国1名、キルギス1名、バングラディッシュ1名、日本2名

2) 国際教室の紹介



国際教室の保護者会

授業参観の日に実施

16名 参加(本年度1学期)

- ・懇談会の時間帯に国際教室に移動して、保護者会を行う
- ・各学年の懇談会内容を通訳付きで説明



教育相談（通訳つき）

①保護者が来校して教育相談を実施

- ・言語：ポルトガル語・スペイン語・中国語

②保護者と学級担任との連携

- ・日本語指導員が担任と保護者の通訳にあたる。
- ・特に3年生に関しては、本人の進路希望先を担任と共有して、行う

★給食とのコラボレーション

目的

給食を通して異文化交流を！

取り組み

ペルー, ブラジルにルーツのある生徒
による放送でのメニュー紹介



9月 ペルー給食

メニュー

- ・ロモサルタード
(鶏肉、たまねぎ、トマトの炒め)
- ・ロクロ スープ
(インゲン豆、とうもろこし入り)
- ・オレンジジュース

【ペルーにルーツがある生徒の反応】

- ・ペルー料理を出してもらって嬉しかった！
 - ・自国の自慢になった！

【日本人の生徒の反応】

- ・家でも作ってみたい！
- ・またペルー料理を給食に出してほしい！



10月 ブラジル給食

メニュー

- ・ フェイジョン
(いんげん豆、たまねぎ、ベーコン)
- ・ 背割れコッペパン
- ・ ウィンナー, ビナグレッチ (ソース)
 - ・ ジョア



【ブラジルにルーツがある生徒の反応】

- ・ 放送で他の生徒にブラジル料理を紹介できた！
- ・ ブラジル家庭料理で食文化を理解してほしい！

【日本人の生徒の反応】

- ・ ホットドッグにかけるソースがおいしい！
- ・ 違うメニューも食べてみたい！



3) 国際教室の取り組み 取り出し指導 入り込み指導の実態

お月あがり

日	水	木	金	土	日



取り出し指導の流れ

- ①教科担当と、その単元で行う内容を事前に確認し、授業プリントをもらう。
- ②授業後、プリントに書いた内容が狙ったものであるか確認し、修正があれば次に生かす。
- ③Googleの共有ドライブで、その日に行った授業の引き継ぎを行う。

例) 1年国語

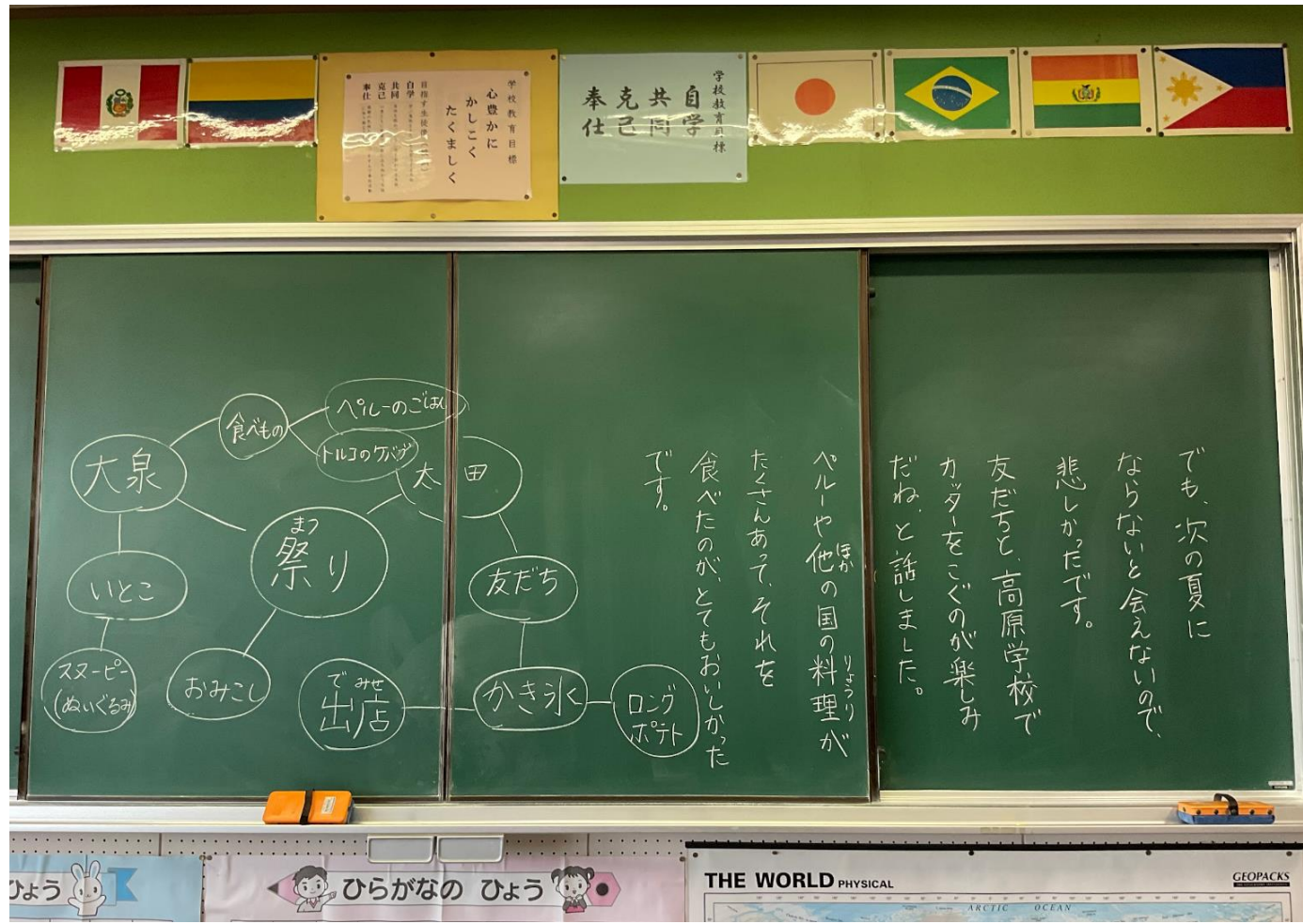
随筆「体験に向き合い意味づける」

- 生徒プロフィール
小学2年生の時にペルーより転入。40日間プレクラスに通ったあと、旭小へ。日本語での会話は可能だが、書くことは難しい。
- 授業内容
単元の1時間目の授業。(クラスと同じプリントを用いる)
自分の体験を振り返り、思いや考えを言葉に書き出す授業。
夏休みに印象深かった思い出を3点上げ、その時の気持ちや、そうなった理由をできるだけ詳しく書く。
- 動画

授業のポイント

- 母語（スペイン語）での説明。
母語で説明することによって、設問の内容がより理解できたか。
- 日本語での聞き返し。
自分の感じたことをより詳しく書くため、本人が言ったことに対して、「なぜ」「どうして」を投げかける。

授業の様子



日本語指導員が入ることによって理解度が増した例

・自分の体験を振り返り、それを体験したときの
気持ちをできるだけ詳しく書く

(1) で書いたことについて、そのときの気持ちや、そうなった理由をできるだけ詳しく書こう。

①	・ えしがりいこと会えたのことも楽しかったです。
②	・ かき氷だけではなく、こりんごあめとチョコバナナも食べたかった。
③	・ スヌーピーのぬいぐるみとか、こらわしかった。



(2) (1) で書いたことについて、そのときの気持ちや、そうなった理由をできるだけ詳しく書こう。

①	・ えしがりいこと会えたのことも楽しかったです。 ・ とも、 ^お 次の夏 ^あ にならなと会えないのこ、 ^お 楽しかったです。
②	・ かき氷だけではなく、こりんごあめとチョコバナナも食べたかった。 ・ 友だちと、高層宇校の ・ カッターをこいのかき氷し ・ だれか話しました。
③	・ スヌーピーのぬいぐるみとか、こらわしかった。 ・ バルーン他の ^お 理 ^か た ^あ お ^こ こを食 ^た のか ^こ こも楽しかったです。

例) 2年国語

説明文「一〇〇年後の水を守る」

- 生徒プロフィール
小4の時にブラジルより来日。聞いて理解することはおおよそできているが、自分が日本語で話すことに抵抗がある。国語は取り出し2時間、入り込み2時間。
- 授業内容
単元の1時間目。全体の構成とおおまかな内容を捉える。クラスと同じプリントを用いて授業をしている。
- 動画

授業のポイント

- 「やさしい日本語」に言い換える。
序論・本論・結論→はじめ・中・終わり
再利用→もう一度使うこと
- 聞き慣れない語をタブレットで翻訳して見せる。
節水→economía de agua
- ヒントを出し、自分で答えられる場面を増やす。
- 考えているときはできるだけ待つ。

○入り込み指導

- ①取り出し授業と同様、その単元で行う内容を教科担当と確認し、授業プリントをもらう。
- ②授業中は、教科担当が話していることを理解できているか、その都度確認し、プリント学習などに一緒に取り組む。
- ③Googleの共有ドライブで引き継ぎ。

例) 1年生 社会



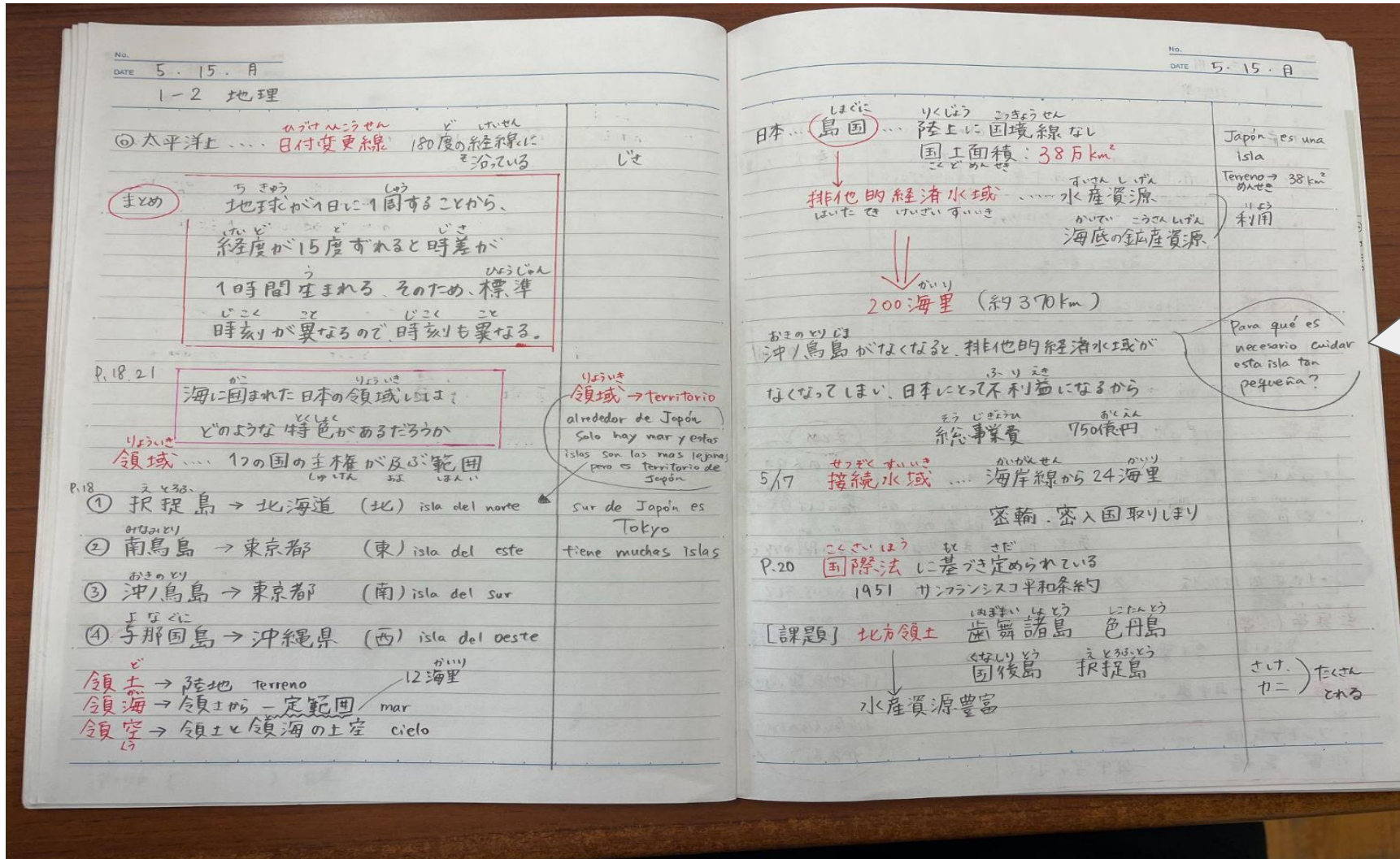
地理 教科書 P38~39

高地の暮らし
～アンデス山脈での生活～

ペルー・クスコの町で暮らす
人々が作る雑貨を紹介

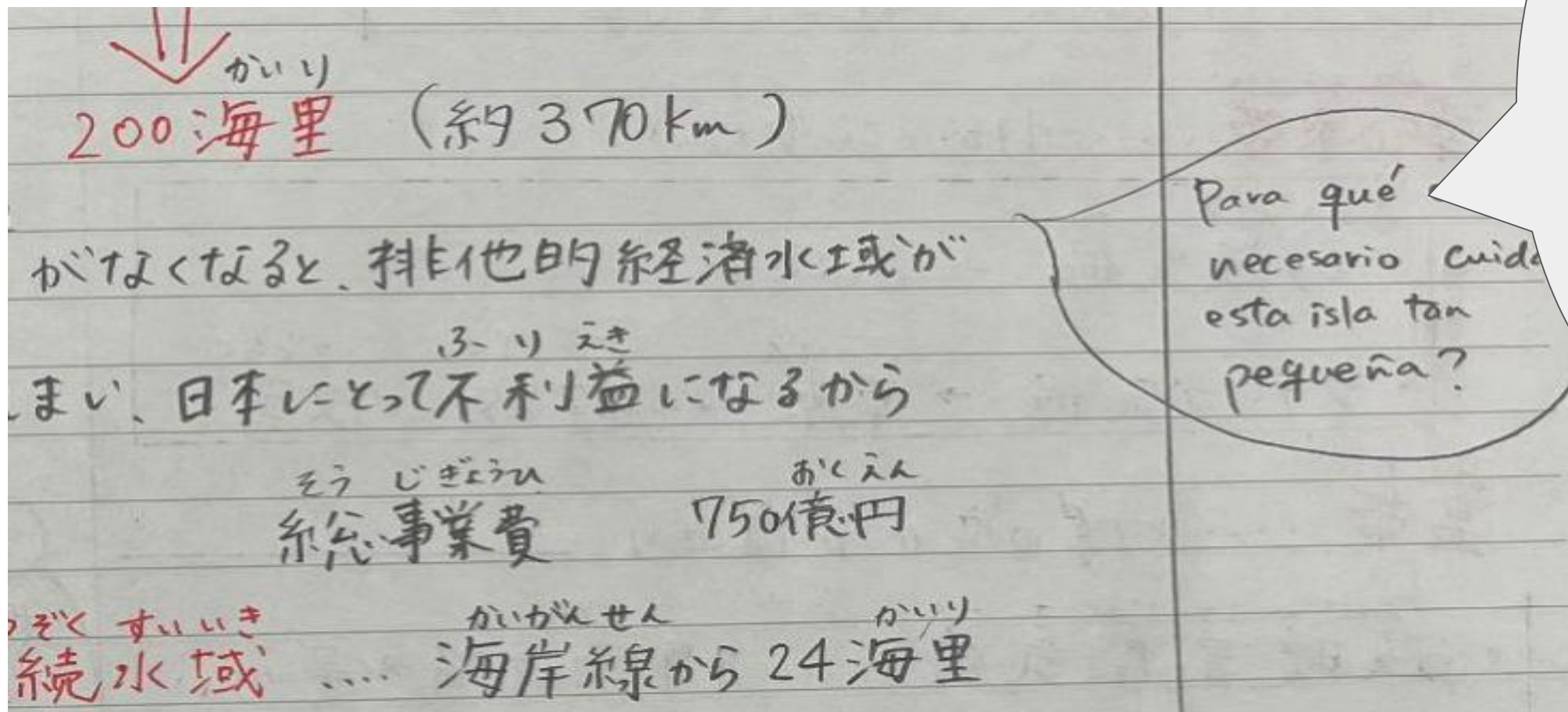
↓
実際にアルパカの毛に触れる

例) 1年生 社会 (地理) 板書ノート



- ・スペイン語でかんたんに訳す
- ・漢字には全てフリガナをふる
- ・授業終了後、コピーを取り、生徒に渡す

例) 1年生 社会 (地理) 板書ノート



・スペイン語で
かんたんに訳す

・漢字には全て
フリガナをふる

・授業終了後、
コピーを取り、
生徒に渡す

Google共有ドライブでの引き継ぎ(例：3年生国語)

5月6日(金) 6校時 OO先生へ

- ・漢字テスト、前回のプリントの残り
- ・握手③

①「私」がルロイ修道士に病気のことを聞けなかったのはなぜか。そんな「私」をどう思うか。

②「私」が人差し指を打ち付けたのは、誰に対してか。

の2点について、各100～160字程度の簡単な意見文を書きます。(途中までになると思います)

Cさん はまだ内容をいまいち理解できていないように思うので、まずは、「内容をおおまかに理解して考えをもつ」部分のサポートをお願いしたいです。

→ Aさん 場面についてイメージもできている。考えを持っている。

Bさん : 場面についておおまかに理解している。

Cさん : ほとんど理解していない。「握手」の意味を翻訳して伝えました。

Bさんが「知らないほうがお互い幸せ」的なよい意見がかけました。

日本語指導のポイント

授業内容の理解を促すために

1. 担当教員による「やさしい日本語」への言い換え
2. 日本語指導員による「母語」での説明

4) 校内連携



○国際教室部会

構成メンバー

校長、教頭、国際教室担当、
日本語指導員、特別支援担当

開催内容

月一回

- ・ 入り込み、見守り指導の経過報告
- ・ 支援が必要な生徒の情報交換
- ・ 支援を行うにあたっての留意点 等



○3年生進路説明会

- 体育館の後ろに、外国籍の保護者席を設ける
- 翻訳した資料を基に、進路担当が話すことを通訳したり、質問に答えたりする



○進路指導

- 私立高校受験に向けた面接練習
- 入試内容に合わせた取り出し指導と時間割調整
- 急遽、受検することになった生徒の対応
(帰国予定→受検!?!→結局、受検せず・・・)
- 高校見学の日程調整や引率

昨年度の例

- ・生徒プロフィール
小6の11月に来日。プレクラスには通えたが、コロナ禍で小学校には1か月ほどしか登校できなかった。ほとんど日本語がわからない状態で旭中に入学。

同時期に来日した生徒と比べ、
ひらがなやカタカナの読み書きが定着しない
小学校の計算ができない



理由がよくわからない

保護者との面談

- 旭中での学習の様子
(保護者は日本語が話せないなので、子どもが日本語をどの程度習得できているかわからない)
- 来日前の学校での様子
- 保護者の考え

これらを話し合ったうえで、保護者から検査の希望があり、実施の方向で動くことに。

支援の流れ

- 中2～数回面談をし、生育歴などを聞き取り
 - 中2の秋 コース立方体組み合わせテスト
 - 中2の3月 WISC-IV
 - 中3の5月 療育手帳の申請手続き（田中ビネー）
-
- 高等特別支援学校 説明会参加
 - 入試内容に合わせた取り出し指導と時間割調整
（面接、計算、ラジオ体操など、1学期から）
 - 入試当日の見送り
 - 入学に向けた書類作成の補助
 - 保護者への連絡

太田市の取り組み

巧内あり

日	水	木	金	土	日



○多言語による高校進路ガイダンスin太田

九合行政センターにて

対面での実施

各言語ごとに別れ同時通訳

参加者：31名

参加高校数：6校

通訳者：10名

通訳言語：6力国語

(2023年度)

